

提案

ジェンダー平等について 自分で調べ



前半はSDGsの基礎、ジェンダー平等について学びました。後半、子どもたちに大学生も加わり、今回のテーマについて考え、まとめ、発表しました。



「ジェンダー平等子ども会議」の様子

7月25日 開催 **ジェンダー平等子ども会議**

自分らしさを発揮できる学校にするために何ができるのか



わたしたちの提案

会議の中で、子どもたちの学校生活での身近な課題として、①通学帽子の男女分け②女子の身だしなみについて子どもたちから意見が出ました。

服装で男女を分けること

小学生は帽子や標準服のボタンのかけ方で男女分けがされていることが多いです。帽子の男女分けが1つ目の課題として挙げられました。
これまで疑問に思ってたかったけれど、男女で分けられてしまっている。
一人ひとりが納得する方を選べばいい。
選択制にするのもいいけれど、女子がキャップをかぶるのは抵抗は少ないけれど、男子が女子用のハットをかぶるのは恥ずかしいし、できないと思う。
安全のためにかぶるのであればどんな帽子でも良いようにすればいいと思う。

「女の子らしく」を求めらねど

「女の子だから」ということで男の子には求められていないことを求められることはまだまだ残っています。2つめは、女子がヘアセットをしないと指摘されるということが挙げられました。
朝、女子がヘアセットせずに学校に行くこと「女子やのにヘアセットしてない」と言われる。

女子だけが言われるのはおかしい。

周りから言われたからと言ってそうしなければいけないわけではない。自分がよいと思えばそれでいい。
自分らしくしていいと応援してくれる友だちが増えればいい。

自分には何ができるか。

どちらか男らしく女らしくという考えからきている。ジェンダー平等ということをいろんな人に知ってほしい。まずは自分自身が学んだり、調べたりする。そうしないと伝えられない。

みんなに伝えたい

まずはジェンダーについてよく知ること、そして伝えることで、性別による決めつけをなくし、性別にかかわらず自分の良さを発揮できるようになりたいと提案が出されました。学校という教育の場でジェンダーについて学ぶ機会はあまりありません。学校でも学ぶことができれば、子どもたちが性別によって行動や選択を制限されることが減り、自らが思い描く将来へ進んでいけるのではないのでしょうか。この会議を発信源として、子どもたちの思いが届き、学校教育の場でジェンダー教育が進んでいくことを願っています。